

令和7年度 海外派遣学生数

No	プログラム名称	プログラム目的・概要	成果	派遣国名	派遣期間	所属学部・研究科	人数	単位取得者数
1	交換留学（夏期派遣）	協定校の学部または大学院で、主に本学で専攻している分野に関連のある科目を受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	（派遣期間終了後公表）	イギリス フランス	令和7年8月 ～ 令和8年7月	人文学部、経済学部、 商学部	6	令和8年度前期に 単位認定見込み
2	交換留学（春期派遣）	協定校の学部または大学院で、主に本学で専攻している分野に関連のある科目を受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	（派遣期間終了後公表）	韓国	令和8年2月 ～ 令和8年7月	人文学部、商学部	2	令和8年度前期に 単位認定見込み
3	交換留学（春期派遣）	協定校の学部または大学院で、主に本学で専攻している分野に関連のある科目を受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	（派遣期間終了後公表）	韓国 中国 台湾	令和8年2月 ～ 令和9年1月	人文学部	13	令和8年度後期に 単位認定見込み
4	海外語学研修 （セントラル・ランカシャー大学）	協定校へ学生を派遣し、会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図るとともに、見学研修を通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養成することを目的とする。	会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図り、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養うことができた。	イギリス	令和7年8月4日 ～ 令和7年8月22日	人文学部、商学部、 工学部	8	単位認定の プログラムではない
5	海外語学研修 （ハノイ大学）	協定校へ学生を派遣し、会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図るとともに、見学研修を通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養成することを目的とする。	会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図り、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養うことができた。	ベトナム	令和7年8月18日 ～ 令和7年8月30日	人文学部、法学部、 商学部	10	単位認定の プログラムではない
7	海外研修 （ワオッシュバン大学）	協定校での研修を中心に文化、歴史、自然、言語等の知識を修得させ、かつ、市民や学生との交流を通じて国際感覚の養成を図ることを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	アメリカ合衆国	令和8年2月14日 ～ 令和8年3月14日	人文学部、法学部、 経済学部、商学部、薬学部	12	令和8年度前期に 単位認定見込み
8	海外研修 （グリフィス大学）	協定校での研修を中心に文化、歴史、自然、言語等の知識を修得させ、かつ、市民や学生との交流を通じて国際感覚の養成を図ることを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	オーストラリア	令和8年2月14日 ～ 令和8年3月14日	人文学部、法学部、 理学部、工学部、 医学部（看護学科）、 薬学部、スポーツ科学部	16	令和8年度前期に 単位認定見込み
9	海外語学研修 （レジャイブ大学）	協定校へ学生を派遣し、会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図るとともに、見学研修を通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養成することを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	カナダ	令和8年2月2日 ～ 令和8年2月20日	人文学部、経済学部、 工学部	5	単位認定の プログラムではない
10	海外語学研修 （レジャイブ大学）	協定校へ学生を派遣し、会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図るとともに、見学研修を通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養成することを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	カナダ	令和8年3月2日 ～ 令和8年3月20日	人文学部、医学部（医学科）	2	単位認定の プログラムではない
11	海外語学研修（Campus France） （クルノーブル大学）	協定校へ学生を派遣し、会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図るとともに、見学研修を通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養成することを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	フランス	令和8年3月2日 ～ 令和8年3月27日	人文学部	1	単位認定の プログラムではない
12	海外研修 （蔚山大学校）	協定校へ学生を派遣し、初・中級レベルの韓国語学習を中心に、文化、歴史、自然などの知識を修得させ、かつ、市民や学生との交流を通じて国際感覚の養成を図ることを目的とする。	初・中・上級レベルの韓国語学習を中心に、文化、歴史、自然などの知識を修得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	韓国	令和7年8月5日 ～ 令和7年8月23日	人文学部、法学部、 経済学部、商学部、 商学部第二部、工学部、 スポーツ科学部	20	単位認定の プログラムではない
13	海外語学研修 （慶熙大学校）	協定校へ学生を派遣し、韓国語の文法と会話を中心に語学力の向上を図るとともに、ソウル近郊で行われる現地学習で韓国文化を体験することを通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養成することを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	韓国	令和8年3月2日 ～ 令和8年3月24日	人文学部、法学部、 経済学部、商学部	21	単位認定の プログラムではない
14	INU Korean Culture Program （仁川大学校）	協定校へ学生を派遣し、韓国語と韓国文化を中心に、学生との交流を通じて韓国文化を深く理解することを目的とする。	韓国文化の知識を習得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	韓国	令和7年8月3日 ～ 令和7年8月16日	人文学部	2	単位認定の プログラムではない
15	Summer Global Hanma Program （慶南大学校）	協定校へ学生を派遣し、韓国語と様々な旅行やアクティビティを中心に、学生との交流を通じて国際感覚を養成することを目的とする。	韓国語学習を中心に、韓国文化の知識を習得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	韓国	令和7年8月3日 ～ 令和7年8月22日	人文学部、商学部	2	単位認定の プログラムではない
16	大連理工大学 短期サマースクールプログラム （大連理工大学）	中日両国間の相互理解促進、大学生同士の友情を育むことを目的に、中国語の授業、学科別研修・交流、中国文化体験を行う。	中国語の授業、学科別研修、中国文化体験を通じて知識を習得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	中国	令和7年9月5日 ～ 令和7年9月14日	人文学部、経済学部	3	単位認定の プログラムではない
17	九州・沖縄大学生友好訪中団 （中華人民共和国駐福岡総領事館）	両国の大学生の相互交流と相互理解を深め、中国の生活文化に直接触れ、「新時代」の中国を体感することを目的とする。	交流、中国の生活文化を通じて知識を習得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	中国	令和7年9月1日 ～ 令和7年9月6日	法学部	1	単位認定の プログラムではない
18	「戦後80年」九州日中友好交流訪問団	中国外交部・中日友好協会、江蘇省対外友好協会を訪問し、中国大学生との友好交流及び次世代育成を行う。	中国の生活文化を通じて知識を習得し、北京、南京、上海で中国大学生と交流を通じて国際感覚を養うことができた。	中国	令和7年10月22日 ～ 令和7年10月27日	人文学部、スポーツ科学部	4	単位認定の プログラムではない
19	交換留学 （4月派遣）	協定校の学部で、本学で専攻している分野に関連のある科目を、留学先の母語で受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	（派遣期間終了後公表）	ドイツ	令和7年4月 ～ 令和7年9月		1	1
20	交換留学 （4月派遣）	協定校の学部で、本学で専攻している分野に関連のある科目を、留学先の母語で受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	（派遣期間終了後公表）	ドイツ	令和7年4月 ～ 令和8年3月		2	令和7年度末に 単位認定見込み
21	交換留学 （9月派遣）	協定校の学部で、本学で専攻している分野に関連のある科目を、留学先の母語で受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	（派遣期間終了後公表）	フランス	令和7年9月 ～ 令和8年6月	人文学部	2	令和8年度後期に 単位認定見込み
22	英語圏文化研修A・B	海外の英語圏の大学で研修を行い、生きた英語を身につけると共に、異文化を体験することによって国際的な視野を持つことを目的とする。	令和7年度英語圏文化研修に参加した13名の学生たちは、4週間の語学研修、課外活動、ホームステイ生活をおととして、実践的な語学力と異文化適応能力の向上を実現した。帰国後は、英語で発信する意欲が飛躍的に高まり、TOEIC®L&Rテスト等の外部試験においても意欲的なスコアアップに繋がっている。また、未知の環境を恐れず、精神的な強さと、多角的視点から課題を捉える姿勢も顕著である。このように、生活全般において主体的な変容につながった。	カナダ	令和7年8月1日 ～ 令和7年9月1日		13	令和7年度末に 単位認定見込み

No	プログラム名称	プログラム目的・概要	成果	派遣国名	派遣期間	所属学部・研究科	人数	単位取得者数
23	ドイツ語圏現地研修	ドイツ語学科2年次生以上の選択科目であり、事前研修、現地研修（協定校での語学研修および文化体験）、事後研修（報告書作成）を受講することで国際感覚を醸成する。	令和7年度ドイツ語圏現地研修に参加した11名の学生たちは、約1カ月間の語学コースおよび課外活動などを通して、ドイツ語能力の向上と異文化理解の深化に努めた。現地でのドイツ語中心の生活は、学生たちに事前学習を含めた学習成果の実感と自信を与えただけでなく、言語コミュニケーションの可能性や世界のアクチュアルな諸問題への関心も喚起し、研修後の事後学習および将来の継続的学習につながった。	ドイツ	令和7年8月5日 ～ 令和7年9月2日	人文学部	11	令和7年度末に 単位認定見込み
24	フランス語圏現地研修	フランス語学科2年次生以上の選択科目であり、海外のフランス語圏の大学での語学研修および異文化体験を通して、国際的な視野を広げることを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	フランス	令和8年2月21日 ～ 令和8年3月13日		30	令和7年度末に 単位認定見込み
25	国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ、Ⅱ 国際コミュニケーション海外研修	法律学科・経営法学科1年次生を対象とする「国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ」「国際コミュニケーション・法政事情Ⅱ」「国際コミュニケーション海外研修」として実施。受入先であるシアトル大学において日米関係や米国の司法制度等の講義を受講するとともに、現地の公的機関や企業を訪問する。事前学習で準備した英語によるインタビューやプレゼンテーション、ディスカッションを行ったり、学生が二人ずつホームステイを体験することにより、アメリカの文化を学んだりといった学生自らが自分の知識と英語力をフルに活用して課題に取り組み実践的内容となっている。	参加学生は、アメリカの法制度や政治経済について、シアトル大学ロースクールで英語での講義を受けるとともに、企業や機関を訪問してインタビューを行った。インタビューで得られた情報は国内で準備した資料を組み合わせ、英語でプレゼンテーションとディスカッションを実施した。研修後のフォローアップとして、担当教員の指導の下、研修成果について各自・各班が振り返り、成果を定着させる重要な取組みとなる研修成果報告書を作成した。	アメリカ合衆国	令和7年8月6日 ～ 令和7年8月21日	法学部	18	令和7年度末に 単位認定見込み
26	アジア法セミナーⅠ （アジア太平洋法政事情） 海外法政事情Ⅰ・海外法政研修	法学部2年次生以上の専門科目「アジア法セミナーⅠ（アジア太平洋法政事情）」、「海外法政事情Ⅰ」「海外法政研修」として実施。研修内容は、ビクトリア大学ウェリントンでの講義（現地の法政事情やマオリ族の問題等）、公的機関（裁判所や政府機関等）や企業を訪問し、英語でインタビュー、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。現地において、自身の判断力と英語力、事前学習で得た知識を実践的・総合的に活用することで、グローバル人材への強い動機付けを図り、日本の次世代リーダーを育成することを旨とする。	参加学生は、ニュージーランドの法制度、政治・経済やマオリ族の問題など、現地において自らの知識と英語力を駆使し、英語でのプレゼンテーションや公的機関・企業への訪問・インタビューを行う等、プログラムを完了した。また、学生一人ずつホームステイを体験したことによりニュージーランドの文化を学んだ。研修後、担当教員の指導のもと、参加学生による日本語および英語の現地研修報告書を作成した。	ニュージーランド	令和8年1月29日 ～ 令和8年2月13日		15	令和7年度末に 単位認定見込み
27	経済学ジョイントコースA	協定校・韓国ウルサン大学との相互交流授業の一環で本学の学生が相手校を訪問して講義の受講、バス見学、ディスカッションなどを行い、日韓の経済について理解を深めた。	実際に韓国を訪れてその経済状況に触れることは何らりの学習となった。英語でコミュニケーションを取り友好を深めることができた。	韓国	令和7年8月5日 ～ 令和7年8月9日	経済学部	37	令和7年度末に 単位認定見込み
28	経済学ジョイントコースB	協定校・静宜大学との相互交流授業の一環で本学の学生が相手校を訪問して講義の受講、バス見学、ディスカッションなどを行い、日台経済の関係について理解を深めた。	実際に台湾を訪れてその経済状況に触れることは何らりの学習となった。英語でコミュニケーションを取り友好を深めることができた。	台湾	令和7年9月2日 ～ 令和7年9月5日		35	令和7年度末に 単位認定見込み
29	海外交流セミナー （オレゴン大学）	アメリカ・オレゴン大学において、英語の集中講義はもちろん、大学での学びに必要なペーパー作成方法やプレゼンテーションスキルをオレゴン大学の教授陣から英語で学ぶことで英語力を向上させること、同時に異文化共生を体験することを目的としている。	英語のリスニングやスピーキングのスキル向上はもちろんのこと、様々な文化が交わる米国での大学生活を経験したことにより、受講生全員の帰国後の大学生活や授業への取り組み方に顕著な変化が見られた。特に、自らの意見を形成するために積極的に学ぶ姿勢や、ディスカッションにおいて異なる意見を尊重する態度、そして堂々としたプレゼンテーション能力の習得などが自覚ましい成果として挙げられ、今回の海外派遣の最大の成果であるといえる。また、英語のスキルを更に伸ばしたいという意欲も醸成され、継続的学習につながっている。	アメリカ合衆国	令和7年8月7日 ～ 令和7年8月25日	商学部 商学部第二部	17	令和7年度末に 単位認定見込み
30	化学国際演習 ナノサイエンス国際演習	日本語を母国語とせず文化背景も異なる人と化学をへレスとしたコミュニケーションをとる方法を学ぶことを目的としている。	韓国の蔚山大学校化学科の教員や同世代の学生と交流することによって、専門知識や技術を実社会で役立てるための英語によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を培うことができた。	韓国	令和7年8月20日 ～ 令和7年8月22日	理学部	7	7
31	TSMC半導体人材育成 日本人留学プログラム	大学間協定を結んでいる国立雲林科技大学において、半導体工学の研究に取り組むことで、半導体人材の育成を図る。	参加学生は留学先で半導体工学を学び、卒業論文執筆を行った。	台湾	令和7年9月1日 ～ 令和8年2月28日	工学部	2	単位認定の プログラムではない
32	看護研修 （啓明大学）	本プログラムは、韓国の大学病院や地域ヘルスケア施設を訪問し、講義や現場見学を通して医療・看護の実践を学び、自己の看護観を深める。また、韓国の学生と東アジア地域に共通する健康課題や健康増進策について意見交換し、国際的視野とグローバルな感覚を養うことを目的とする。	韓国での講義や施設見学、学生交流を通して、国際的視野を広げながら看護実践への理解を深め、自己の看護観をより豊かにすることができた。	韓国	令和7年8月3日 ～ 令和7年8月9日	医学部（看護学科）	10	単位認定の プログラムではない
33	海外看護研修 （ワオッシュバン大学）	本プログラムは、米国の高度な専門性と身体アセスメント能力を特徴とする先進的な看護を学び、自己の看護観を醸成する。また、異なる文化や社会背景をもつ米国の看護を理解し、現地で生活する人々との交流を通じて、グローバルな感覚と国際的視野を養うことを目的とする。	米国での先進的な看護教育と臨地での学びを通して、専門的な身体アセスメント能力や看護実践への理解を深めるとともに、異文化に基づく看護への洞察を得ることや、国際的視野と自己の看護観をより豊かにすることができた。	アメリカ合衆国	令和8年2月25日 ～ 令和8年3月7日	医学部（看護学科）	9	単位認定の プログラムではない
34	交換留学 （1年間派遣）	協定校の学部や大学院で、本学で専攻している分野に関連のある科目を、留学先の母語で受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	（派遣期間終了後公表）	ドイツ	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	人文科学研究科	1	令和8年度に 単位認定見込み
35	交換留学 （Traditional Chinese Medicine Program） （10日間派遣）	講義、実習、病院訪問を通して、伝統的な中医学と補腎療法を学ぶ。	台湾に根づく文化や健康に対する意識、アプロウチを学ぶことができた。また、台湾の学生や他国の学校との交流も盛んに行われた。	台湾	令和7年8月18日 ～ 令和7年8月27日	スポーツ健康科学研究科	4	単位認定の プログラムではない